

## ■ TOPICS :

### 1. ごあいさつ

### 2. 11月13日(土)、14(日)、21(土)

オータムスクール2021in瑞浪 を実施しました

### 3. 11月22日(月) ぎふフューチャーセンターを開催しました

### 4. 12月12日(日) スーパーハイスクールセッションを開催しました

### 5. 行事案内

## 1. ごあいさつ

こんにちは。本格的な冬の到来を迎えまして、寒気厳しき折柄、皆様いかがお過ごしでしょうか。世間は師走で慌ただしいですが、見渡せば、夜景などの美しさだけでなく、人の優しさに胸があたたかくなることも、きっとあるはずです。私は、11月の中学校教育実習のときから、改めて実感しております。

今回は、11月・12月の活動について紹介をしていきます。もうすぐ2021年は終わりますが、感染症に気をつけながら、今年を締め括ることができました。(教3・川出)

## 2. 11月13日(土)、14(日)、21(土)オータムスクール2021in瑞浪を実施しました

オータムスクールとは、岐阜大学・中部学院大学・中部大学・日本福祉大学・名古屋学院大学の5つの大学が合同で実施しているプログラムです。今回は瑞浪市を舞台に「私が市長だ！瑞浪市プロモーション大作戦」をテーマとして、30人の学生がふるさと納税倍増を目指すコースと、まちづくり活性化を目指すコースに分かれて取り組みました。



大湫町で見かけた干し柿🍂

👉出発式での集合写真。瑞浪市長(写真前列右から6人目)を囲んで「頑張るぞ！」

👉河川敷で化石発掘体験



私が参加したのはまちづくりコースで、中山道の街並みを残しつつ、積極的な移住促進策で人口増加が見込まれる大湫(おおくて)町や、再開発の進む瑞浪駅前、日本唯一の自由に化石発掘ができる河原などを見学、体験しました。

体験を踏まえ、私のグループは、都市の大学生を対象とし、生活体験で実際に稼いでみるプログラムを提案しました。仕事+生活体験+遊び、というプログラムで、具体的には瑞浪で盛んなサーキット大会のスタッフ、作物の収穫から出荷、販売まで行い、商品開発まで行う体験、駅前のカフェ運営などを提案しました。

そして、これらの提案が瑞浪市長の心を打ち、私のグループは市長賞を受け取ることができました！地域活性化が各地で「死活問題」となる今、まちづくりについてみんなで深く考える良い機会となりました。(工1・古澤)

### <最終提案内容>

- |              |                      |
|--------------|----------------------|
| 【Aふるさと納税コース】 | 【Bまちづくりコース】          |
| A1.ふるさと納税福袋  | B1.個別・段階的移住          |
| A2.ふるさと納税ツアー | B2.ワーキングホリデー         |
| A3.初心者キャンプ   | B3.ドキュメンタリーとオンラインツアー |

### 3. 11月22日(月) ぎふフューチャーセンターを開催しました

中部電力と地域協学センターの共同開催のぎふフューチャーセンターに参加しました。ぎふフューチャーセンターは、多様な人々が集まる対話の場のことです。

今回のテーマは、くらしの中で感じる地域の課題に対して中部電力の強みを生かした解決案を考えていこう、というものです。全2回のうちの1回目、地域の課題を出し合いました。

中部電力グループの方2名と自治体の方1名に大学生3名を交えた私のグループでは、社会人の方から新しい視点を、学生から柔軟な発想を出し合うことで、多くの課題を見つけることができました。社会人の方の、見つけた課題のまとめ方や関連性を見出す過程はすばらしく、最大の学びとなりました。

第2回では、第1回で考えた課題の具体的な解決策を考えていきます。すばらしい議論を行うことができ、第2回が楽しみです。(工2・高木)



全体の様子



白熱する意見交換

#### <今回の発表内容>

- ・交通の多様性
- ・何かあったときに助け合える
- ・次世代につながる、みんなが協力しあえる町



出てきた意見をまとめて発表

### 4. 12月12日(日) スーパーハイスクールセッションを開催しました

SSSとは、県内のスーパースクール（SSH, SGH等）から有志の高校生が集まって、岐阜県の活性化をテーマに、他校の生徒も含めたグループで知恵を出し合い、課題解決にあたる取り組みです。

今年は「岐阜の里山を活用して、地域の課題を解決しよう」という課題について取り組み、今までに2回の話し合いをしてきました。今回は最後の提案発表会で、里山をテーマにしていろいろな発表がありました。印象に残ったのは高校生が協力し合って里山の活用について知恵を出し合い、調査からプレゼンに至るまで、各グループで創意工夫がこらされていたという点です。道の駅を活用したり、旅行の中での里山との触れ合いなど、フレッシュな発想が多く見られました。



最終プレゼンに向けて追い込み

質疑応答でも、積極的に仲間の意見に耳を傾け、疑問点や提案を相互に交流して「深い学び」を自分たちで創り上げていました。大学生も圧倒されるほどの柔軟な思考と純粋な想いを持って、今後も大学と連携しつつ、地域の課題解決に正面から向き合っていくことを期待しています！(教3・坂上)



発表会終了。ここまでお疲れさまでした！！

### 5. 行事案内

01月17日 ぎふフューチャーセンター 開催予定